

第51回奈良県中学校サッカー新人大会 開催要項

1. 主催 奈良県中学校体育連盟
2. 主管 奈良県中学校体育連盟サッカー専門部
3. 期 日 2017年12月10日(日)・17日(日) 【リーグ戦】
2017年12月23日(土)、2018年1月8日(月)・14日(日)予備1月20日(土) 【トーナメント】
4. 試合会場 県内各中学校・その他グラウンド 【リーグ戦】
奈良県フットボールセンター・御所市民運動公園・その他調整中 【トーナメント】
5. 参加資格 奈良県中学校体育連盟に今年度加盟登録された単一中学校であり、次の条件を満たしていること。
 - (1) 上記のチームにあって、2017年11月24日(顧問者会議の日)までに、奈良県中学校体育連盟に登録された2年生以下の選手であること。ただし、新規者、クラブチームからの移籍、または一家転住等の理由により上記期限以降に追加登録した選手が大会参加を希望する場合は、専門委員長の別途了承のもと大会への参加が認められる。
 - (2) 1チームは、引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手25名(大会参加申し込み)内とする。ただし、各試合における選手エントリーは最大18名とする。
 - (3) 選手数が不足している学校による「複数校合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。もちろん、「11名以上の選手を有する学校」(以下、「満たしている学校」という)同士の合同は不可である。
 - ① 「奈良県中学校総合体育大会複数校参加規定」(別記)に従い、奈良県中学校体育連盟が認めたものであること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同であってはならない。
 - ③ チームの編成は、原則として「11名に満たない学校」(以下、「満たない学校」という)どうしとする。原則として3校以上での合同は認めない。
※ただし、3校以上であってもエントリー数(新人大会は18名)を越えない範囲であれば、この限りではない。
※特例措置として、「満たない学校」と「満たしている学校」の合同を認めることがある。その際、大会参加のための救済措置であるという視点を十分踏まえ、合同のチームの編成のあり方については、十分配慮すること。なお、その詳細は、奈良県中体連サッカー専門部「複数校合同チームの参加規定について」(別記)による。
※また、「満たない学校」と「満たしている学校」の一部が合同することは不可。大会参加は、1校1チームのみ。
 - ④ 大会参加の申請・申込の手続きは、それぞれの学校の顧問者が協議の上、代表する学校が行うこと。
 - ⑤ 複数校合同チームとしての参加を専門委員長が別途了承すること。
承認は、2017年11月24日(金)(顧問者会議の日)までとする。
 - (4) 参加生徒の引率・監督は出場校の教員とする。その他コーチについては校長の認めた者とする。なお、コーチ・マネージャーを新規に登録するときは、県総合体育大会時に発行したコーチ・マネージャー確認書を使用し、同様の方法で行うこと。
また、外部コーチは、大会時に確認書の写しを必ず帯同すること。
6. 競技規定 (1) トーナメント方式と一部リーグ戦により、優勝以下第3位までを決定する。
(2) 各リーグ戦における上位2チームまでがトーナメント戦に進むことができる。ただし、さまざまな状況により、リーグ戦の試合をすべて棄権したチーム、及び予定した2日間のリーグ戦日程を消化できないグループからは、トーナメントへの進出は無きものとする。
(3) リーグ戦における順位決定方法は、勝ち=3点/引き分け=1点/負け=0点の勝ち点により多い順に決定する。なお、同一の場合は、以下の項目に従い決定する。

- ① 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
 - ② 全試合のゴールディファレンス（総得点—総失点）
 - ③ 全試合の総得点
 - ④ 当該チーム同士の対戦成績（ペナルティーキック方式（サドンデス）の結果を反映する。）
 - ⑤ 上記の項目においても、同一の場合は、抽選（当該チーム代表者の立ち会いによる）により決定する。
- (4) 試合開始時刻に試合可能な人数（7人）に達していない場合は不戦敗とする。
- (5) リーグ戦における諸事情による棄権に対する対応について
- ① 諸事情〈不測の事故等、及び人数不足（7人未満）による大会への参加困難等〉により、リーグ戦の当初あるいは、途中からそれ以降の試合をすべて棄権するチームがあるときは、同様にスコアは0-5とする。ただし、これによりゴールディファレンス等で順位に影響を及ぼす場合は、棄権チームとのスコアはすべて削除する。
 - ② 諸事情〈不測の事故、試合開始時刻への遅刻、及び人数不足（7人未満）等〉により、1試合のみの棄権については、その試合のスコアは、0-5とする。
 - ③ 諸事情〈インフルエンザ〉により、いくつかの試合を棄権するチームが出た場合も、スコアは原則として0-5とする。ただし、これによりゴールディファレンス等で順位に影響を及ぼす場合は、以下の項目に従いスコアを決定する。
 - ア： 成立した試合に敗戦がないとき、スコアは原則として0-5とする。
 - イ： 成立した試合に敗戦があり、その試合のスコアのうち最大得失点差が5以下の場合は、0-5とする。
 - ウ： 成立した試合に敗戦があり、その試合のスコアのうち最大得失点差が5を超える場合は、その差を用いて、0-(最大差)とする。
 - エ： ア～ウの項目においても影響を及ぼす場合は、棄権チームとのスコアはすべて削除する。

※ 共通理解事項として、(5)は、棄権試合のスコアがリーグ戦における順位決定方法に影響を及ぼす可能性を含んでいるためのものである。従って、トーナメントへ進出するチームの決定に際して、最も適切なスコアが適用されるためのものであることを確認しておく。

- (6) 試合時間はすべて、60分（30-5-30）とする。
- ① リーグ戦：
 - 規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は、引き分けとする。ただし、順位の上必要な場合は、ペナルティーキック方式（サドンデス）を行う。
 - ② トーナメント【1回戦～準決勝】：
 - 規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は、ペナルティーキック方式により、次回戦に進出するチームを決定する。
 - ③ トーナメント【決勝戦】：
 - 規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は、5分間の休息の後10分（5分ハーフ）による延長戦を行い、なお決しない場合は両チーム優勝とする。
 - ④ トーナメント【順位決定戦】：
 - 規定の競技時間内に勝敗の決しない場合、延長戦等を行わない。
- (7) 選手交代
- ① 大会参加申込み（エントリー）した最大25名の選手のうち、その試合においてあらかじめ指定した選手のうち最大7名が主審の許可を得て交代することができる。1度退いた選手は、再び出場することはできない。
 - ② 交代要員は、第4の審判員に対して、交代する選手の番号を通告し、服装・用具の点検を受けた後、主審の許可を得てからフィールド内に入ること。
 - ※前後半・延長戦中はもちろん、ハーフタイムのインターバル中、延長戦に入る前に選手交代する場合も、適正に行われること。
- (8) 試合球はJFA公認5号球を各チーム用意すること。
- (9) ユニフォームについては、「ユニフォーム規定」（別記）を満たすもので以下のとおりとする。
- ① 選手はすべて同一の服装であること。
 - ② ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。

- ③ ユニフォームは色違いのものを2着用し、選手番号は同一とする。
 - ④ 同系統色が重なった場合、主審によるコイントスの上、一方のチームにユニフォームの変更を求める。
 - ⑤ ユニフォームのシャツの主たる色が黒色、または紺色であるものは、これを認めない。
 - ⑥ ユニフォームの広告表示については、中体連規定によりこれを認めない。
 - ⑦ ユニフォームのシャツの前面・背面に登録した選手番号を付けること。なお、選手番号については1～99とする。また、ショーツの番号は、付けることが望ましい。
 - ⑧ ユニフォームのシャツの背面には、番号以外の選手の個人名は認められるが、その他（チーム名、県名等）は認められない。
 - ⑨ アンダーシャツおよびアンダーショーツを着用する場合は、袖またはショーツの主たる色と同色であること。また、ストッキング（ソックス）の上にテープまたは同様な材質のもの（バンテージ、アングルサポーター等）を外部に着用する場合は、着用する部分のストッキングの色と同じものでなければならない。
- (10) 退場処分を受けた者、または警告を2回(累積)を受けた者は、次の1試合に出場できない。それ以外に、処遇をフェアプレー(規律)委員会(糺 良彦委員長)にて審議し、決定する場合がある。その決定に際し、特に悪質な行為(審判に対する攻撃的な、侮辱的な言動等)については、大会をまたいでの出場停止を行う場合がある。なお、リーグ戦において受けた警告は、トーナメント戦には持ち越さない。
- (11) コーチングについては、ベンチまたは、テクニカルエリア内で行うこと。なお、テクニカルエリア内に立ってコーチングできるのは、その都度引率者、監督、コーチのうち1名のみとする。ただし、会場によっては、テクニカルエリアが設置できない場合もある。その場合は、ベンチのみとする。
- (12) 日没、雷、降雪等により試合続行が困難な場合は試合を一時中断する。中断・再開の判断は、審判団とマッチコーディネーター、および大会本部が協議の上、判断する。雷等の場合、再開の目安は120分とするが、会場施設や運営等の都合も考慮する。
また、日没、雷等により一時中断された試合がその日のうちに再開できない場合は、日を改めて、中断によって行われていない残り時間(残分)を行い、ゲームを成立させる。
なお、このことによるその後の大会日程の変更等は、追って連絡するものとする。
- (13) 以下、最新の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

7. 表 彰 優勝以下第3位までを表彰する。

8. その他
- (1) 選手のエントリーは、自チームの初戦打合せ時に、所定の「エントリー用紙」原本1部とその写し1部を本部へ提出しチェックを受けること。なお、その写しは大会本部の控えとする。「エントリー用紙」の受付後のエントリー変更は認めない。以後、チェックを受けたエントリー用紙原本の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合15分前までにエントリーメンバー票の先発メンバー欄に[○]印をつけ、本部に2部提出すること。
 - (2) チーム代表者並びに競技運営にあたっている運営役員は、**必ず第1試合の開始1時間前(各会場にて変更可)**に本部に集合し、運営にあたること。また、運営のための打ち合わせを行うこと。但し、競技場の準備等(補助員等)については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある。
 - (3) 敗退したチームの顧問は、次回戦に進出すべき予定ゲームの運営役員及び審判を務めなければならない。(補助員の場合も含む)

※ 共通理解事項として、以下の項目を確認しておく。

- ① リーグ戦において敗退したチームには、その後行われるトーナメントの運営役員及び審判が配当される。具体的な配当は、リーグ戦終了後に**メールで配信するので、必ず確認すること。**
 - ② トーナメントは、進出したチームにも運営役員及び審判の担当を配当することがある。
 - ③ トーナメントにおいて敗退したチームには、上記①の通りとする。
- (4) ベンチについては、会場本部からピッチに向かって
- リーグ戦：組み合わせの通り
 - トーナメント：左側にトーナメント表の小さい番号チーム、右側に大きな番号チーム

- (5) ベンチ入り人数は、引率者 1 名、監督 1 名、コーチ 1 名、選手 18 名の計 21 名以内とする。また、試合前のピッチ内アップについても、同様とする。
- (6) 審判は、必ず審判服を着用すること。(選手生徒が副審を担当するときも、審判服を着用すること。) また、試合開始 1 時間前に到着し、審判団として打ち合わせを行うこと。予備審も試合前に指名しておくこと。
※予選リーグについては、生徒による副審可。ただしユース審判員が望ましい。
- (7) マッチコーディネーターをおくこと。第三者的立場の派遣役員に依頼することが望ましいが、無理な場合は、その会場の役員の中から指名する。
- ・ 試合運営の総括責任者である。
 - ・ グラウンド状況の把握。
 - ・ 試合運営状態、試合進行状況の把握とチェック。
 - ・ 選手の態度のチェック。
 - ・ 審判員のチェック。
 - ・ 悪天候や試合におけるトラブルが発生した場合、審判団、役員と協議の上で試合続行の可否について最終判断を下す。
- (8) 試合開始 1 時間前をめどとして、マッチコーディネーターミーティングを行い、以下の内容を確認するものとする。なお、ミーティングは、マッチコーディネーター・審判団・対戦チーム代表で行う。ただし、その会場の日程上の都合等でミーティングの時間がとれない場合は、朝の打ち合わせ時に時間を確保して行っておくこと。
- ・ 試合運営上の必要な内容(試合開始時刻・試合時間・メンバーチェックの時刻等)について
 - ・ ウォーミングアップ(ピッチ内の使用の可否・時間等)について
 - ・ ユニフォームの色について
 - ・ 悪天候時には、試合続行の判断について 等
- (9) 大会期間中の負傷及び疾病については、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。
 ※ インフルエンザに関する対応は、「大会を感染拡大の場にしない」という施政方針の下、奈良県教育委員会の通達に従って、各チームで対応すること。
- (10) 会場でのマナーについて、大会参加チーム(選手・エントリーされていない選手、応援者・保護者等を含む)は、以下の点に留意してください。
- ① 会場施設の美化に努めること。ゴミ等はすべて各チームで必ず持ち帰ること。
 - ② 会場敷地内が、全面禁煙となっている会場では絶対に喫煙しないこと。また、喫煙が可能な場合であっても、喫煙は指定された場所のみとし、マナーを遵守すること。
 - ③ 会場使用のマナーを遵守すること。特に、車両の乗り入れ、駐車等については、十分配慮すること。とりわけ、保護者の来場については、会場によっては、十分な駐車場が無い場合もあるので、公共の交通機関を利用するか、乗り合わせで来場されるように周知すること。なお、保護者が車で来場する場合は、大会本部より各校顧問を通して配布された「駐車券」をダッシュボードの上など車内の見えやすい場所に掲示すること。駐車場所については、会場校の指示に従うこと。また、会場周辺への路上駐車は絶対に無いよう周知すること。今後の会場使用について制限を受けることがある。
 - ④ 応援は、各会場より指定された場所で行うこと。マナー(判定・プレーに対する暴言等)にも各チーム顧問として十分注意を払うこと。

以上の点について大会関係者から指摘があった場合、フェアプレー(規律)委員会に諮りその処遇を決定する場合があります。

※ 大会の運営方法等について詳細に記した【運営確認事項】を後日メールで配信する。必ず確認すること。

9. 参加申込 (1) 申し込み方法 :

申し込み用ファイルに必要事項を記載し、電子メールに添付した上で、下記のアドレス(競技委員長 布施 淳一郎)まで送信して、参加申し込みを行う。

※不参加の場合も、必ずメール送信すること。

アドレス : katashio@kcn.jp

件 名 : 【新人大会 エントリー ○○中学校】

※ 件名の○○には中学校名を入力すること

(2) 申し込み〆切：

2017年11月17日(金)までに必着

※ 参加申し込みのメールを受信しましたら、受領証を返信いたします。
返信メールをご確認ください。

10. 監督会議 (1) 日 時：2017年11月24日(金) 午後2時～ *専門委員会は、12時30分～

(2) 場 所：広陵中央公民館 2F 大会議室

〒635-0821 奈良県北葛城郡広陵町笠382-1 TEL：0745-55-1181

(3) 注意事項：

① 抽選会には必ず各チームの代表者，またはチーム内の代理人が出席すること。

② 万一，欠席または遅刻の場合は，必ず専門委員長（糀 良彦）まで連絡すること。

(4) その他

問い合わせ

専門委員長 糀 良彦

090—8368—8433